

進む道を探して —中高校生の進路—

日本の小中高校生は、どんな仕事に就きたいと思い、実際どんな進路を歩むのでしょうか。最近、小学校から大学院までそれぞれの段階で、職業について知るとともに、自分の個性を理解し、主体的に進路を選択する力を育てるキャリア教育が注目されています。こうした状況をレポートします。

人気の職業

日本の小中高校生はどんな職業に就きたいと思っているのでしょうか。人気のある職業は、その時代の経済状況や社会状況、地域の状況が反映されます。例えば、ゲームクリエイターや介護福祉士・ホームヘルパーなどは、デジタルゲームが人気

を集めていたり、高齢化が急速に進んだりするなど、今の日本の社会状況を反映しています。一方で、学校の先生、医師、公務員など、時代に関係なく人気のある職業もあります。

なりたい職業ベスト20

中学生男子	高校生男子	中学生女子	高校生女子
1 野球選手	1 学校の先生	1 保育士・幼稚園の先生	1 学校の先生
2 サッカー選手	2 公務員	2 看護師	2 保育士・幼稚園の先生
3 学校の先生	3 医師	3 マンガ家・イラストレーター	3 看護師
4 医師	4 理学療法士・臨床検査技師・ 歯科衛生士など	4 芸能人 (歌手・声優・お笑いタレントなど)	4 薬剤師
5 公務員	5 薬剤師	5 美容師・理容師	5 理学療法士・臨床検査技師・ 歯科衛生士など
6 技術者・エンジニア・整備士	6 警察官	6 学校の先生	6 公務員
7 車の整備士・カーデザイナー	7 研究者・大学教員	7 動物の訓練士・動物園などの 飼育員	7 医師
8 ゲームクリエイター・ ゲームプログラマー	8 技術者・エンジニア・整備士	8 ケーキ屋・パティシエ	8 栄養士
8 芸能人 (歌手・声優・お笑いタレントなど)	9 法律家(弁護士・裁判官・検察官)	9 ファッションデザイナー・デザイナー	9 介護福祉士・ホームヘルパー
10 法律家(弁護士・裁判官・検察官)	9 消防士(レスキュー・救急救命士)	10 通訳・翻訳	10 カウンセラー・臨床心理士

Benesse教育研究開発センター 「第1回子供生活実態基本調査」2005年

高校の選択・高校卒業後の選択

経済的に豊かになると同時に、少子化が進んだことで、高校進学率、大学等への進学率は大幅に上がりました。

高校進学率は1974年に90%を超え、現在は約98%に上っています。日本の高校を学科別に見ると、普通科、専門学科、総合学科の三つに分けられます。専門学科には、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、情報科、福祉科などがあります。総合学科は1994年に新たに設置された学科で、普通科と専門学科の両方を備えたものです。以前は、高校卒業後の進路として、普通科は進学、専門学科は就職という道が大体決まっていた。しかも専門学科の場合には、高校で身につけた専門的な技能を生かした職業に就くということがほとんどでした。しかし、最近では、高校卒業後の進路が多様化してきています。そこで、両方の進路を視野に入れた総合学科ができたのです。総合学科は設置以後その数は増え、2006年現在298校あります。また、普通科で

も専門的なことを重点的に学べるようなコース、例えば、情報コース、体育コース、英語コースなどを設けている高校も多くあります。

課程で見ると、全日制課程、定時制課程、通信制課程があります。全日制課程に通う生徒が全体の92%を占めています。

大学の選択

高校卒業後の進学率も大幅に伸びました。特に、専修学校が設置された1976年以後の伸びが顕著です。1975年の25%から、2007年には約75%になっています。少子化の影響から、希望すればほとんどの人が進学できる状況です。こうしたことから、「とりあえず、親が言うから四年制大学に進むという生徒も少なからずいます。何のために大学に進学する

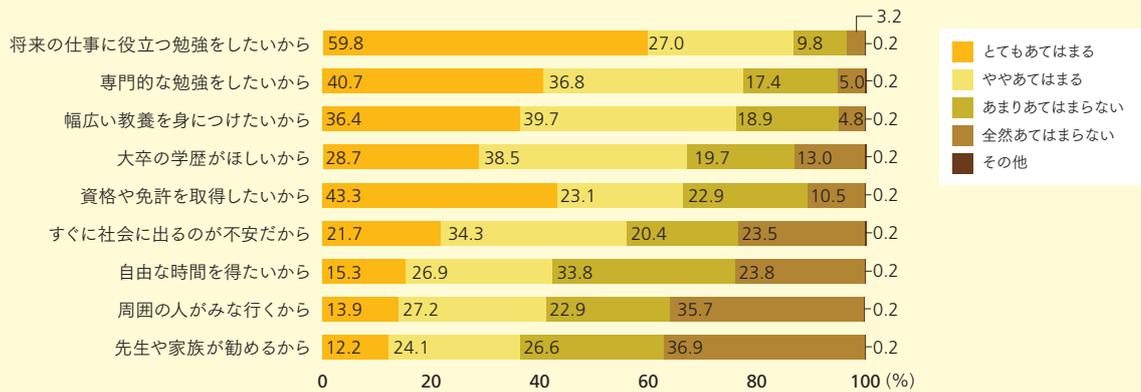
のか、なぜ勉強するのかという目的意識が低く、学校を卒業したら働いて自活していくんだという意識もあまりないのが最近の大きな傾向です」と長年、高校生に進学情報を提供しているライセンス・アカデミーの国分浩（こくぶひろし）氏は言います。また、「以前は、専門学校に進む人ははっきりした目的意識がありましたが、最近では、趣味の延長で専門学校*1に進む人もいます」とも言います。

「第1回子供生活実態基本調査」（ベネッセコーポレーション）でも、就きたい職業があると答えた高校生は7割近くいたものの、「そのために努力しているか」という問いには、4割近くが「ない」と答えています。就きたいと思っている職業があっても、その内容はぼんやりしている人が多いといえるでしょう。

*1 専修学校のうち、医療・福祉、美容などの専門課程を設けている学校。

大学への進学理由

調査対象：大学生 6,463 人



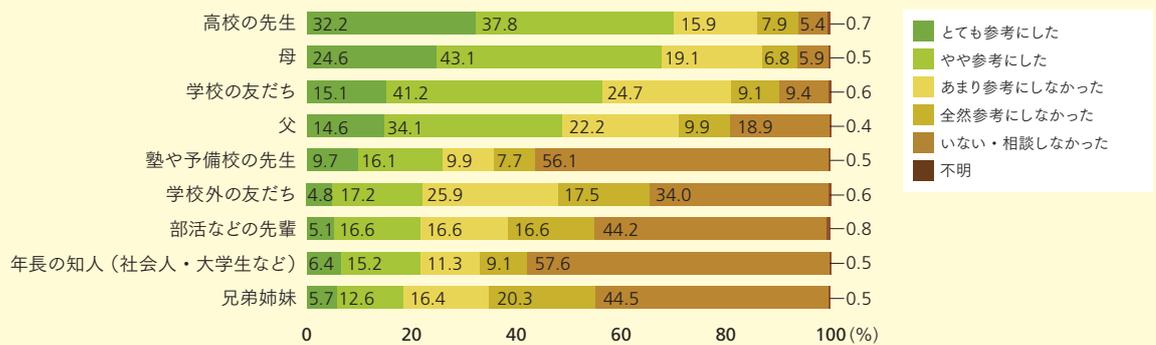
Benesse教育研究開発センター「進路選択に関する振り返り調査—大学生を対象として—」平成17年

誰に相談するの？

高校や大学を決めるときに、誰に相談することが多いのでしょうか。

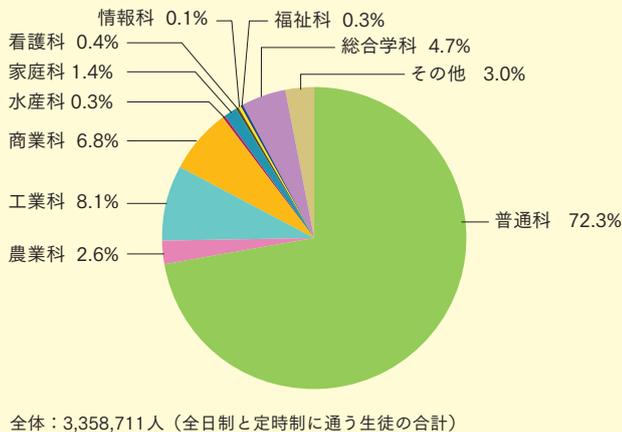
誰の意見を参考にしたか？

調査対象：大学生 6,463 人



Benesse教育研究開発センター「進路選択に関する振り返り調査—大学生を対象として—」平成17年

高等学校の学科別生徒数の割合



文部科学省「平成20年度学校基本調査」

職業について知るさまざまな場

皆さんは知っている職業をいくつ挙げられるでしょうか。日本では3万近くあるといわれています。しかし、小中高校生が知っている職業は、親や身の回りの人の職業などごく限られています。働く人の8割が企業に勤めている今日では、子どもたちが日常生活で仕事に触れる機会があまりにも少なく、職業について知らないのは仕方のないことかもしれません。世の中にどんな職業があり、それらの職業によってどのように社会が成り立っているのかを知ることが、進路について考える第一歩になります。

現在、日本の小中高校生はどういった場で職業について知り、仕事を体験する機会があるのでしょうか。

職業について知る



©Gento-sha

514種類のさまざまな職業を紹介する『13歳のハローワーク(*2)』は2003年11月に発行されるとたちまち大きな反響を呼び、2007年までに売り上げ130万部を超えるベストセラー&ロングセラーとなりました。2005年には、ウェブサイトが開設されました。このサイトでは、職業を検索する方法がいろいろと提示されています。『「好き」で調べる』

では、自分の好きなこと、例えば、「虫が好き」「ダンスが好き」「乗り物が好き」などをクリックすると、それに関連した職業を知ることができます。また、『「思い出」で調べる』では、チェックシートにしたがって、小学校のときの自分を振り返ると、「規

律ある遂行者」「世に尽くす情熱家」「明るい活動家」など8タイプの中からどのタイプかが示され、そこから職業を見られるようになっていきます。また、興味をもっている職業に実際についている人に質問するコーナーもあります。

「13歳のハローワーク」以外にも、職業を紹介したり、相談にのったりする本やテレビ番組、サイトは数多くあります。

*2 ハローワークは公共職業紹介所のこと。

ライセンスアカデミー：<http://shinronavi.com/>

天職みつめ隊 職業体験ネット：<http://www.syokutai.jp/>

NHK教育：平成若者仕事図鑑：<http://www.nhk.or.jp/shigoto/>

将来になりたい仕事ナビ：<http://www.shigotosagasi.com/>

商売のおもしろさを体験

近年、子どもたちが職場体験をできる場が増えています。2006年東京にオープンした、メキシコ生まれのキッズニア(<http://www.kidzania.jp/>)は、80種類以上の職業を楽しみながら疑似体験できる学びと遊びの施設で、小学生を中心に高い人気があります。

山口県長門市では2006年から年に一回「ちびなが商店街」が出現します。その名は、「ちびなが商店街」。ちびっこのための、ちびっこによる、な



© キッズニア

キッズニアで消防士の仕事を体験する子どもたち。



© 長門商工会議所

仕事を実際に体験することで仕事が身近になる。

がと(長門)商店街の略です(要確認)。商店街には、花屋、文房具店、パン屋などの商店のほかに、ハローワーク、銀行、新聞社、放送局もあります。ちびなが商店街にやってきた小学生はまずハローワークで仕事を探します。そして1時間働いたあとは、商店街でだけ通用するお金「チビー」をもらい、商店で買い物ができます。中高校生は経営者になり、商品の展示や小学生店員の指導、経理も担当します。



ちびなが商店街の駄菓子屋。たくさん子どもたちでにぎわった。

© 長門商工会議所

広がる職場体験プログラム

小中高校の段階に応じたキャリア教育を行っていかうという方針が文部科学省から出されました。キャリア教育の中でも職場体験は重視されていて、2002年には、全国の約11,000校の9割以上が1日以上職場体験を実施しました。そして、2005年から中学校を対象に、5日以上職場体験プログラム「キャリアスタートウィーク」が導入されています。2007年には、4,040校で実施されました。

東京都江戸川区立小松川第一中学校では2005年度から、東京都内で初めて5日間の職場体験プログラムを2年生に対して実施しています。宇佐美博子校長は、「子どもたちが知っている職業は驚くほど少ないのです。公務員になりたいと言ってもその中身は全然わかっていなかったりします」と言います。そこで、1年生では、身近な職業について調べることから始めて、いろいろな職業があることを学びます。そして、次に2年次で体験する職場を決めるのですが、まず職業を選びます。販売・サービス、飲食・食品、作業・物づくり、動物関係、エネルギー、学校関係、病院・福祉、公営・事務という大まかな分野に分けられた職業から、生徒は自分が体験したい職業を選び、そして、職場を決めるのです。職場体験を終えた生徒は、職場の人たちへのお礼の手紙を書くことはもちろん、自分たちが体験したことや考えたことを、叱られたこと、感謝されたことなどのエピソードを交えて、新聞にまとめます。

なぜ5日間なのでしょう。宇佐美校長は「1日目はオリエンテーションで終わり、2日目は説明を受けながら見るだけ、3日目で作業ができるようになり、4日目で工夫をするようになり、5日目で達成感を味わう」のだと言います。ほとんどの生

徒が、大人は仕事に誇りをもってやっていることを知ります。そして、仕事の大変さに気づくのですが、大変だからこそ、成し遂げたときには充実感があるということも体験し、「仕事のすばらしさ」を実感しているようです。

新聞社で5日間午前9時から午後5時まで職場体験をした3年生の生徒は、1日目は家に帰るとすぐに寝てしまったと言います。「仕事をするの大変さがよくわかりました。でも、楽しかったです。それから、いつも学校であいさつをしろとか、時間を厳守しろとか言われるのですが、職場体験したことで、その大切さがよくわかりました。先生に言われなくても自分からしようと思うようになりました」と言います。

「こんなに時間を割いて勉強は大丈夫なのかという不安も当初はありましたが、職場体験したことで、生徒は勉強することの大切さに気づき、授業が前より充実したものになっています。そして、学校や生徒が地域の人たちとつながったこともとても意味のあることです」と宇佐美校長先生は、職場体験プログラムの効果を話します。



生徒は職場体験で仕事の大変さとおもしろさを知る。

© 江戸川区立小松川第一中学校

なぜキャリア教育が注目されているの？

1991年のバブル崩壊後、それまで日本経済を支えていた日本の経営が見直され、年功序列や終身雇用制といった雇用形態が崩れてきています。企業は能力主義の導入や、正社員の採用をおさえ派遣社員をはじめとするさまざまな形態での雇用を推進しています。また、経済的な豊かさを第一に求めるのではなく、趣味などを含めた生活の充実を求めたり、一つの会社でずっと働き続けるのではなく、条件のよい会社に転職したりする人が増えるなど、若い人たちを中心に人びとの勤労観も多様化しています。しかし、雇用形態が多様化する一方、新卒者を一斉に採用するという慣習も依然として強くあるため、高い専門技能をもっていなければ途中で採用されることは難しいという状況があります。

このように社会構造が変化する中で、ニート^{*3}やフリーター^{*4}が増えています。フリーターの中には楽しく気ままに仕事をしたいという安易な理由からフリーターになっている人もいます。

また、ニートには、多様な仕事があることや仕事の内容をイメージできない人が多いようです。自分の適性ややりたいことがわからないままイメージで企業を選んだりしたことやすぐに辞めることになり、結果的にニートにつながることもあります。

こうしたことから、自分の個性や適正を自覚し、主体的に進路を選択し、望ましい勤労観をもつ必要があるという認識からキャリア教育が注目されているのです。

*3 ニートは1999年にイギリス・ブレア政権で用いられた、16-18 years old not in education, employment or trainingに由来することばです。内閣府では、学校に通学しておらず、配偶者のいない独身者であり、ふだん収入を伴う仕事をしていない15歳以上34歳以下の個人と定義し、60万人以上いるとしています。

*4 フリーターは、フリーアルバイターの略で、正規雇用ではなくアルバイトやパートタイマーで生計を立てている人のことです。

音楽か、英語か どちらもできる仕事を見つけよう！

しおり
詩織

大阪府立夕陽丘高校*



わたしの好きなもの

言葉：ありがとう、めっちゃ♪

作曲家：シューマン、ベートーヴェン、バッハ

食べ物：フルーツ、特にメロン、スイカ、桃！スパゲティー、特にたらこスパゲティーとピザ

わたしにとって、音楽と英語はどちらも、とても大切です。ピアノは4歳のときからずっと習っています。小学校4年生のときに、友だちといっしょに英会話学校に行くようになりました。英会話学校では、主に会話の練習をするのですが、それがとても楽しかったです。英語は、そのときからずっと勉強しています。『OC』のような、アメリカやオーストラリアなどの学生生活のドラマにも、たくさん影響を受けました。校則がなかったり、車で学校に行ったりと、自由な雰囲気にとってもあこがれます。そういうドラマに出ている人たちにとって英語は自分たちの言葉なので、英語を話すのは普通のことです。でも、自然に英語を話す様子がとてもかっこいいと思いました。こういうドラマを見ると、「わたしもこのドラマの世界に入りたい」と思います。

高校選択：音楽か、英語か

中学1年生になって、学校で英語を勉強するようになりました。でも、そのときの英語の授業はただ教科書を勉強するだけで、とてもつまらなく感じました。そして、学校の英語の授業がとても嫌いになってしまいました。わたしが英語の授業をまた好きになれたのは、2年生のときの英語の先生のおかげです。その先生は、教科書だけでなく、自分で作ったプリントを使いながら教えてくれました。また、実際に使える日常会話の表現なども教えてくれました。英語とスペイン語をととても上手に話す先生で、わたしも、先生のように英語を話せるようになりたいと思いました。この英語の先生に出会って、英語の勉強が本当に好きになりました。

中学に入って部活動(注1)を始めました。部活動とピアノを両方続けられるように、ほかの部より休みが多い水泳部を選びました。中学1年生のときには、ピアノと水泳部の活動をなんとか両立さ

せていました。でも、放課後に英会話学校や塾にも通っていたので、毎日が本当に忙しかったです。そして、2年生になったばかりの春、とうとう限界がきました。水泳は夏に大会があるので、春から夏までの練習がいちばん大事です。でも、ピアノも夏にコンクールと発表会があります。このままでは両方とも中途半端になるし、体力的にもとてもきついと思いました。わたしにとって水泳は趣味ですが、音楽と英語はこれからもずっと続けていきたい、自分にとってとても大切なものだと考えました。それで、自分で納得して、水泳部をやめました。

それから、英語を中心に勉強できる高校に進むか、それとも夕陽丘高校に進んで音楽を専攻するか、真剣に悩むようになりました。3年生になって、高校の入学試験の願書を出すときがきても、まだ決めることができませんでした。そのときの担任の先生は、生徒一人ひとりのことを愛情をもって考えてくれる人でした。わたしの進路についても、熱心に相談ののってくれました。あるとき、先生がわたしにこう言いました。「英語の勉強は、あとでやりたいと思ってもやれる。先生がもし詩織ちゃんだったら、夕陽丘高校を受けてみる」。たしかに、ピアノは一度やめてしまったら、あとでまたやりたいと思っても、もう取りもどせないと思いました。そこで、高校では音楽を専攻して、英語は自分で勉強しようと決めました。



学校のピアノのレッスン。週に1回、個人レッスンがある。

©Yoshizato Hiroko

音楽を専攻して

夕陽丘高校の音楽科では、専攻のピアノや副専攻の声乐のほか、音楽理論や音楽史など、音楽についていろいろなことを専門的に勉強します。演奏会の機会もたくさんあるし、ウィーンでの音楽研修プログラムなどもあります。ピアノなどのレッスンでは、曲の細かいところまで深く理解して表現することが求められます。例えば、ペダルの踏み方では、自分が表現したいことによって、ペダルの調節のしかたがいろいろあるということを学びました。先生にはいつも、「あなたはどのようなことを表現したいと思って演奏しているか」と聞かれます。高校に入る前もピアノは一生懸命やっていたつもりです。でも、今思うと、前は何も考えないで演奏していたのかもしれない。高校で音楽を専攻して、「音楽ってこんなに深いものなんだ」と知りました。今は、音楽はおもしろい、もっと勉強したいと思っています。

音楽の仲間たち

音楽科で出会ったクラスメートたちは、わたしにとってとても大切な存在です。あるとき、ピアノのテスト中に、曲の途中で演奏できなくなったことがあります。コンクールの直前だったのですが、そのせいで、人前でピアノを弾くのが怖くなってしまいました。そんなわたしの気持ちが変わったのか、クラスメートたちが、「わたしたちの前でちょっとピアノを弾いてみる？」と声をかけてくれました。そこで、放課後、みんなの前で弾いてみたら、自分の気持ちがとても落ち着きました。そして、無事にコンクールで演奏することができました。こういうところが、やっぱり音楽の仲間なんだと思います。中学までのクラスメートはいっしょにいて楽しい存在でしたが、高校のクラスメートたちは、音楽についてわかり合える、お互いを高め合うように励まし合える存在です。みんながすごくがんばっているのがわかるから、わたしもがんばろうと思えます。

夕陽丘高校で国際交流も体験!

入学前は知らなかったのですが、夕陽丘高校は英語教育や国際交流にも熱心な学校でした。いろいろな国から短期や長期の留学生が来ます。2年生のときは国際交流委員会幹部になって、留学生の歓送迎会の企画や運営などもしました。また、同じ2年生の夏には、学校のニュージーランド英語研修に参加しました。わたしは、高校に入る前にも、英会話学校のオーストラリア研修など、海外研修には何回か参加したことがありました。だから、この研修では、「初めて海外研修に参加するほかの人たちと同じ気持ちではだめ。英語を積極的にたくさんしゃべろう!」と思いました。ニュージーランドの

受け入れ校の授業は、夕陽丘高校の生徒のための特別授業でした。わたしは先生たちにお願ひして、研修中にわたしのバディ^(注2)になった子の普通の授業に参加させてもらいました。わたしのバディになった子は、学校代表もやっているような忙しい子でした。だからなのか、わたしとの交流にはあまり興味がなかなかなと感じることもありました。最初は、その子が何を言っているのかなかなかわからなくて、すぐに仲良くなることができませんでした。その子と友だちが話しているのを見て、いっしょに話したいなあと思っても、あまり話せなくて辛くなりました。そして、自分ももっと英語を話せたら、もっとこの子と仲良くなれるのにと思いました。今でもその子の写真を見ると、次にこの子と会うときは英語でたくさん話せるように英語の勉強をがんばろうと思います。でも、ほかにすごく仲良くなった女の子がいて、その子とはずっとメールや手紙のやりとりをしています。演奏会の前に、その子に「すごく緊張する」と手紙を書くと、「自信をもって。強い気持ちでがんばって」と励ましてくれます。日本の友だちも同じように励ましてくれますが、海外の子から言われると、特別につながっているなあという気がして、すごく勇気をもらえます。ニュージーランドで出会った友だちやそこで過ごした時間のことは、今でも毎日のように思い出します。わたしにとって、とても大切な時間だったと思います。

音楽も英語も生かせる仕事がいい!

高校を選ぶときには、音楽をとるか英語をとるかとても迷いました。でも、夕陽丘高校に入って、結果的には音楽も英語もますます好きになることができました。将来は、わたしにとって大切な音楽と大好きな英語、そして教えることをいっしょにできる仕事がいいと思います。教える仕事に興味をもったのは、中学2年ときの英語の先生と中学3年ときの担任の先生の影響が大きいです。この2人の先生に出会って、自分の人生は大きく変わりました。わたしも、生徒にいい影響を与えられるような先生になりたいです。自分の将来のために、高校を卒業したら教育大学に進みたいと考えています。

*本人の希望により、保護者の方と学校の許可を得て、学校名を記載しました。
注1、注2は中文訳を参照してください。



ニュージーランドの研修旅行に持っていった手作りの自己紹介ノート。家族や学校生活、日本のこと、自分がこれまでに行った国のことなどを写真つきで紹介している。